\*\*2019年12月改訂(第4版、販売名変更等に基づく改訂)

\*2009年1月改訂

#### 角化症治療剤

### 日本標準商品分類番号 872669

# \*\* 承認番号 30100AMX00142 \*\* 薬価収載 2019年12月 販売開始 2005年4月

## \*\*尿素クリーム10%「日医工」

\*\*UREA CREAM10%「Nichiiko」 \*\*(尿素製剤)

**貯法**:室温保存

\*使用期限:外箱及び容器に表示

#### 【組成・性状】

成分・含量(1g中)			(日局) 尿素 100mg
添	加	物	スクワラン、セタノール、1,3-ブ チレングリコール、ステアリン酸、ス テアリン酸グリセリン、メチルパラベ ン、ブチルパラベン、その他3成分
性	;	状	白色の乳剤性軟膏で、においはほと んどない

#### 【効能・効果】

アトピー皮膚、進行性指掌角皮症 (主婦湿疹の乾燥型)、 老人性乾皮症、掌蹠角化症、足蹠部皸裂性皮膚炎、毛孔性 苔癬、魚鱗癬

#### 【用法・用量】

 $1 \\ \exists 2 \\ \sim 3 \\ \Box$ 、患部を清浄にしたのち塗布し、よくすり込 $t_{c}$ 。

なお、症状により適宜増減する。

#### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与(次の場合には慎重に使用すること)

(1)炎症、亀裂を伴う症例

〔一過性の刺激症状を生じることがある。〕

(2)皮膚刺激に対する感受性が亢進している症例 [一過性の刺激症状を生じることがある。]

#### 2. 重要な基本的注意

(1)皮膚への適用以外(眼粘膜等の粘膜)には使用しないこと。

(2)潰瘍、びらん、傷面への直接塗擦を避けること。

#### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査 を実施していない。

	頻 度 不 明
刺激症状	疼痛、熱感、潮紅、瘙痒感
過敏症	過敏症状
皮膚性	湿疹化、亀裂、丘疹、腫脹、乾燥化

注) 使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

### \* \* 【薬効薬理】

#### 生物学的同等性試験

尿素クリーム10%「日医工」は、ウシ角質を用いた角質水分保持試験<sup>1)</sup> 及びヒトにおける皮表角質水分吸収・保持試験<sup>2)</sup> において標準製剤(10%)との効力比較の結果、両剤間に有意差は認められず、両剤の生物学的同等性が確認された。

#### 【有効成分に関する理化学的知見】

局方名:尿素 化学名:Urea 構造式:

 $H_2N$   $NH_2$ 

分子式: CH<sub>4</sub>N<sub>2</sub>O 分子量: 60.06

融 点:132.5~134.5℃

性 状: 無色~白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、冷涼な塩味がある。水に極めて溶けやすく、沸騰エタノール (95) に溶けやすく、エタノール (95) にやや溶けやすく、ジエチルエーテルに極めて溶けにくい。水溶液 (1→100) は中性であ

る。

#### 【取扱い上の注意】

1. 本剤にステンレスヘラを長時間接触させたままで放置すると、錆びることがあるので注意すること。

#### \* \* 2. 安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験(なりゆき室温)の 結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、<u>尿素クリーム10%「日医工」</u>は通常の市場流通下において5年 間安定であることが確認された<sup>3</sup>。

#### 【包 装】

チューブ入 20g×10

#### 【主要文献】

1)池田薬品工業 (株) 角質水分保持に及ぼす効果の比較試験 (1986)(社内資料)

2)池田薬品工業 (株) 角質水分吸収・保持に及ぼす効果の比較試験 (1988) (社内資料)

3)池田薬品工業(株) 安定性試験結果(社内資料)

#### 【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

日医工株式会社 お客様サポートセンター 〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

> (0120) 517-215 Fax (076) 442-8948

